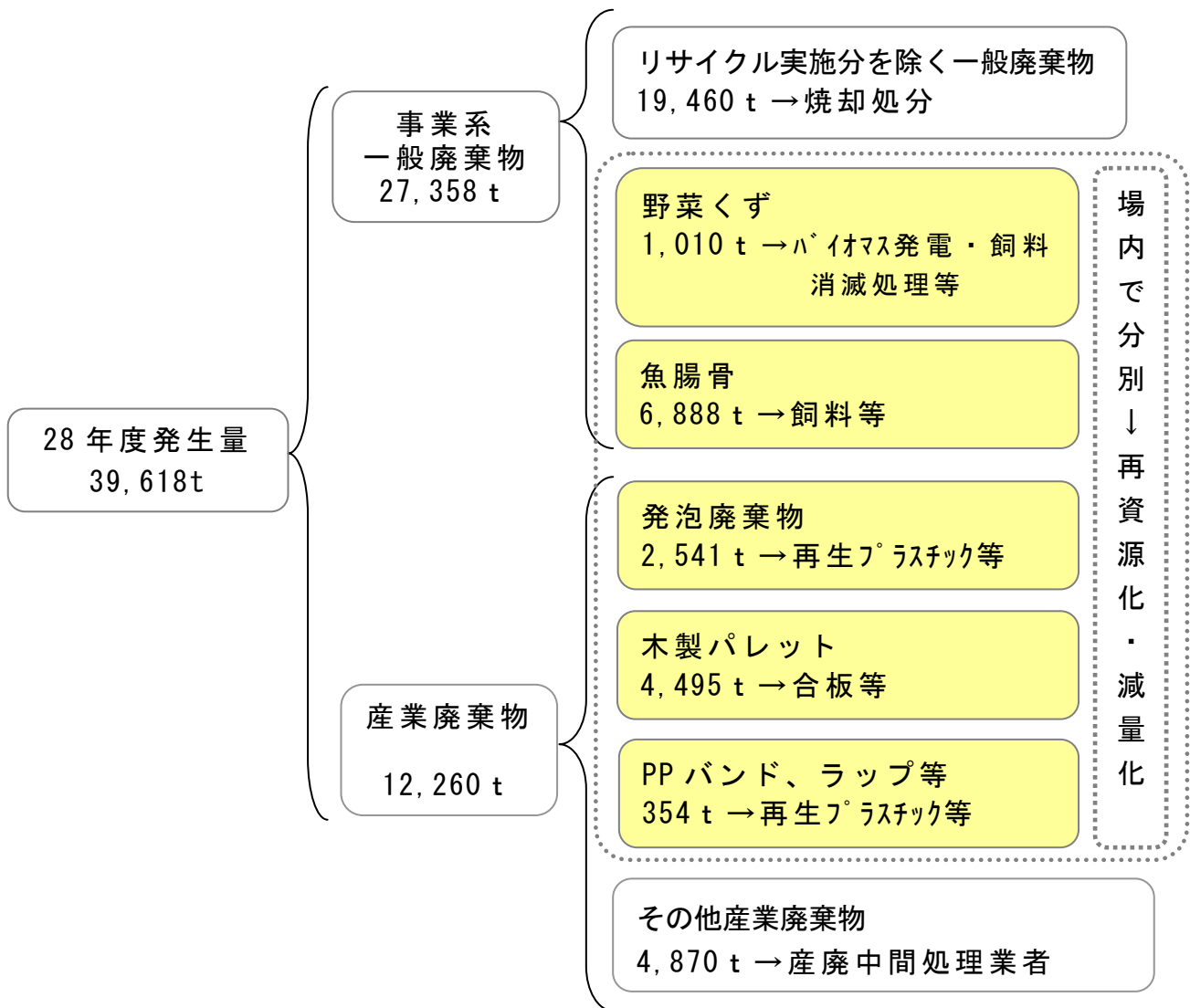


# 東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



○一般廃棄物は27,358トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約71%、19,460トンです。野菜くずは1,010トン、魚腸骨は6,888トンが再資源化されています。段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。

○産業廃棄物は12,260トンであり、発泡廃棄物2,541トン、木製パレット4,495トン、場内で分別されたPPバンドやラップ等354トンが再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く4,870トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化されたり、サーマルリサイクル(熱回収)されたりしています。

○市場で発生した39,618トンの廃棄物のうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の15,288トン(全体の約39%)です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。